

平成18年度

決算

一般会計を含む全10会計の決算が、
9月定例議会で認定されました。

一般会計

黒字

3億1,208万3千円

平 成18年度一般会計の決算状況は、歳入については前年比2.2%減の66億5,254万6千円、歳出については、前年比0.8%増の63億2,928万8千円となり、歳入歳出の差引額は3億2,325万8千円で翌年度へ繰越すべき財源1,117万5千円を除いた実質収支は3億1,208万3千円の黒字となりました。

歳 入においては、前年度と比較し、町税、地方交付税、繰入金等が減少し、地方譲与税、国庫支出金、町債等が増加しました。特徴としては、地方交付税が国の政策のもと、年々減少傾向にあり18年度は1億5,804万3千円の減となりました。また、火葬場建設等の主要事業費の財源に充てた町債は過疎債・合併特別債等合わせて1億490万円の増となりました。

●平成18年度の主な施策

単位：千円

区 分	事業費
消防施設等整備事業	38,124
火葬場建設事業	526,607
合併浄化槽設置事業	54,281
農道水路等工事費	45,816
林道改良整備費	37,480
道の駅改修工事	47,033
町道新設改良工事費等	536,957
睦合小学校屋内運動場改築工事	188,790
富小・万中校舎屋根改修事業	40,285
水道施設整備事業	401,795

歳 出においては、前年度と比較し、人件費、物件費、公債費等が増加し、普通建設事業費、繰入金等が増加しました。特徴としては、職員数の減や、町債の償還完了により公債費が減となるなど、義務的経費が1億3,931万2千円の減額となりました。一方、火葬場建設事業・睦合小学校屋内運動場改築事業・道の駅改修等の投資的経費が2億742万4千円の増となっています。

18 年度決算は「新町建設計画」で計画された事業を順調に執行しながらも、人件費を含む経常経費の地道な削減への取り組みや、潤沢な基金残高により、健全財政が堅持されています。

●一般会計の決算状況

単位：千円

歳 入	歳 出	差 引
6,652,546	6,329,288	323,258
翌年度への繰越財源		11,175
実質収支額		312,083

特別会計

安心した生活のためいづれの会計も黒字決算



簡 易水道会計は、前年度より7、454万4千円の増となり、国庫補助事業で行われる中央簡易水道を主に、富沢地区の水道施設整備が行われ、安定した水の供給に努めています。今後は、維持管理費や地方債償還額も増加しつつありますので、料金体系の見直しや、自主運営の体制づくりが求められます。

国 民健康保険会計を始めとする各保険制度の会計は、前年比で多少の増減はありますが、別表のとおりとなりました。町では、町民が安心して健康な生活が過ごせるように医療保険制度の充実と共に健全な保健財政を維持し、生活習慣病予防や疾病の早期発見・早期治療の施策が行われています。

●特別会計の決算状況

単位：千円

区 分		歳 入	歳 出	差 引	
簡 易 水 道		628,427	620,797	7,630	
指定居宅サービス		59,364	56,312	3,052	
国民健康保険	事業勘定	969,283	864,124	105,159	
	直診勘定	南部	298,402	246,898	51,504
		万沢	82,504	69,879	12,625
老人保健		1,395,194	1,337,812	57,382	
介護保険		825,581	778,567	47,014	
睦合財産区		726	226	500	
富沢財産区		5,574	5,179	395	
大城平外二山財産区		880	248	632	
大日向外三山財産区		186	142	44	

●主な基金の状況

単位：千円

公共施設整備基金	減債基金	財政調整基金	まちづくり振興基金
1,012,602	669,396	630,008	1,000,000

(19年3月末現在・一般会計分のみ)

